

久留米大学を受診した患者さんへ

「*Mycobacterium conceptionense* 血流感染症例の検討」の研究に使用する試料（情報）について

この研究では、久留米大学を受診し、手術・検査の際に採取し保存されている以下の試料（情報）を使用します。

- 1) 期間：2015（平成 27）年 3 月から 2015（平成 27）年 5 月
- 2) 受診科：感染制御科 がん集学治療センター
- 3) 対象疾患名：*Mycobacterium conceptionense* 血流感染
- 4) 使用する試料（情報）：（診療情報、細菌学的検査結果等）

あなたの試料を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。

ご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

- 1) 研究組織：所属：感染制御学講座
 - 研究責任者：感染制御学講座 教授 渡邊 浩
 - 研究分担者：感染制御学講座 助教 八板 謙一郎
 - ：がん集学治療センター 助教 松永 宗倫
 - ：感染制御学講座 講師 升永 憲治
 - ：病院薬剤部 副主任 酒井 義朗
 - ：臨床検査部 技師 大坪 直広
 - ：臨床検査部 技師 田代 尚崇
 - ：臨床検査部 技師 堀田 吏乃

2) 研究の意義と目的：*Mycobacterium conceptionense* は非定型抗酸菌症の一種ですが、現段階で英文雑誌では骨軟部組織感染、呼吸器感染症を初めとする 12 例の症例しか報告を認めません。また日本での報告は検索した限り国内学会発表で呼吸器感染症の 1 例だけです。今回の症例は血液培養から検出されたため起因菌として明らかですが、世界でも菌血症としての報告は 1 例のみです。今回の症例は 2015 年 3 月に上記非定型抗酸菌症の血流感染と診断されたものです。この迅速発育型の非定型抗酸菌症は診断も難しく治療も定まってないものが多いため、本症例を詳細（発症様式、合併症、診断方法、治療方法、治療期間）を報告し、文献的考察を行うことで、その早期診断、的確な治療の探求を行うことが目的です。

- 3) 研究の方法：診療情報の後ろ向きレビュー、また類似症例の文献レビューを行います。

- 4) 研究期間：平成 27 年 9 月倫理委員会承認後～平成 29 年 8 月 31 日
- 5) 上記の試料（情報）の使用を選定した理由：*Mycobacterium conceptionense* 菌血症症例という理由からです。
- 6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について：名前、イニシャル、住所、正確な入院の日付について記載はしません。
- 7) 研究成果の発表の方法：学会や論文形式で発表します。
- 8) 利益相反：特定企業からの資金援助はありません。
- 9) 事務局、問い合わせ、連絡先：
（代表者氏名）久留米大学病院感染病学講座 助教 八板 謙一郎
（住所）久留米市旭町 67
（TEL）0942-35-3311（FAX）0942-31-7826